

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成15年度	根拠法令・例規等	サイクリングターミナル設置条例
総合計画	大項目	基本目標	05	住民主体の協働のまちづくり	
	中項目	基本施策	01	住民主体で進めるまちづくり	
	小項目	施策	03	ボランティア・NPO	
事務事業名		01	ボランティア活動支援事業	このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	ボランティア活動に関心のある方 サイクリング愛好者	
目的 (何のために)	ボランティア活動の推進と啓発 サイクリングターミナルにおいて、レンタサイクルなどにより市民の健康増進を促進する。また、ボランティア活動に対して、施設を開放することにより、市政への参画と協働のまちづくりを促進する	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	ボランティア活動への参加者を増やし、市政への参画と協働のまちづくり推進する サイクリングターミナルにおいて、市内外からの利用者に対して、健康増進を図りながら東備地域の恵まれた自然を知っていただく	

事業の実績		Do
事業名	事業の説明	優先度
人材育成事業	ボランティア活動を担うリーダーなどの人材育成事業	
目的を達成するため実施した事業	ボランティア・NPO育成事業	ボランティア・NPOとの協働と活動支援
	サイクリングターミナル管理運営事業	レンタサイクル、会議室等の貸出。 自転車貸出 20台 会議室使用 会議室、交流室ほか

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	直接事業費	千円	1,510	1,570	1,535
	必要人員	人員	千円	0.13人	0.12人	0.07人
	事業費	費用	千円	2,612	2,553	2,152
	国庫支出金		千円			
	受益者負担		千円			
繰入金		千円				
市債		千円				
その他( )		千円	435	507	499	
一般財源		千円	2,177	2,046	1,653	
受益者負担比率		%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	レンタサイクル貸し出し件数	件	467	576	455
	対前年比	%	-	123.3%	79.0%
	活動コスト	円	2,529,000	2,151,000	1,868,000
	単位当たりコスト	円	5,415	3,734	4,105

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	成果指標	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
	目標値(A)	550	550	550	550	
	実績値(B)	467	576	455	到達目標値	
達成率(B/A)	84.91%	104.73%	82.73%	550		
成果指標設定の考え方・式や説明						
レンタサイクルの利用人数の増加を図る						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	協働のまちづくりをすすめる中で重要な役割を担っているボランティア団体を支援し、ボランティア活動の意識高揚を図る レンタサイクルの貸出しを実施。利用者の安全な運行と地域のPRに心掛ける。会議室等施設については、引き続きボランティアなど自主活動グループの使用に開放していく

総合評価		総合評価
岡山県ボランティア・NPO活動支援センター、社会福祉協議会などの関係機関等と連携してボランティア活動を活性化させていく必要がある サイクリングターミナルについては、施設の認知度が低く、幅広く有効活用できていない。レンタサイクルは、例年一定の貸出数があるが、さらなる利用者増に向けPR等に力をいれていく必要がある。片鉄口roman街道が通っている自治体と情報交換し、連携を強化していく		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

平成26年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	
取組目標	まちづくり基本条例に規定されている市民主体の協働のまちづくりを推進するため、ボランティア・NPO関係機関との連携・協働をすすめる必要がある レンタサイクルの利用促進及び会議室等施設の利用率を向上を図る。(課題1:自転車がママチャリタイプが多く、坂の多いサイクリングロードに適したタイプの自転車が少ない 2:利用が春・秋期に集中。夏・冬期の集客対策)	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな